

留学生とペットの絆

A1 薛姣

私は留学生ですが、中国から猫を日本に連れてきました。猫が大好きなので、皆さんから私は「ネコちゃん」と呼ばれています。今日は、留学生がペットを飼う際に持つべき責任感についてお話ししたいと思います。

2年前、偶然、野良ネコを拾いました。それから、毎日、世話をして、遊んで、病院に連れて行って、そしてネコの気持ちがだんだん理解できるようになって、心の交流が生まれました。そのうち、ネコちゃんは動物ではなくて、家族になりました。

だから、どうしても一緒にネコを日本へ連れていきたくかったので、たくさん調べて、どうやって日本へ連れて行けるか準備しました。もう家族だったので、離れることができませんでした。

ペット飼育は単なる趣味や一時的な楽しみではありません。皆さん、ペットは可愛いでしょうか？ 私にとっても、自分の猫は世界で一番可愛いものです。ふわふわの動物の可愛さは、言葉では表現しきれないほどのものです。

でも、多くの留学生は「可愛い」という理由だけでペットを飼うことを決めることがあります。しかし、ペットを飼うということは、楽しみだけでなく、ペットのお世話は面倒なこともあります。

さらに、ペットを飼うということは、お金もかかります。食事や医療費、必要な用具

など、ペットの健康管理には、お金が必要です。ペットが病気になったり、年を取ったりすることもあるので、それに伴う経済的負担も十分に考える必要があります。

特に、留学生は学費や生活費が多くかかることがあります。だからこそ、ペットを飼う前に、お金の余裕があるかどうか確認しましょう。

でも、残念ながら、まだ多くの留学生が帰国する際、初めは可愛いと思って飼っていたペットを捨ててしまったり、ペットを飼うことを「面倒くさい」と感じるようになっていきます。これは非常に無責任な行為です。ペットを捨てる音は、家族を捨てるほどのことです。

だから、留学生の皆さん、将来の進学や就職、帰国するかどうかに関わらず、いつもペットを手放さない覚悟を持つことが大切です。

私もペットと暮らすのは大変です。病院の費用、ペットと暮らす家の家賃などです。ネコちゃんはずっと一人ぼっちで、「ミャーミャー」と鳴いていることがあります。私はいつも「ごめんね」という気持ちです。

でも、ネコちゃんは私が大変な時もいつでも私を待っています。だから、私はいつも元気でいようと思います。アルバイトの時も、学校から帰っても、そこに、一番の親友が待っていてくれます。

本当に、猫との絆を深く感じ、心に温かさと幸せも感じられます。

最後に、留学生として、新しい環境で学び、成長することは素晴らしい経験です。ペ

ットを飼うことも素晴らしい経験ですが、同時に大きな責任を伴います。

愛情と責任を持って、ペットとの絆を守っていくことをお願いいたします。

みなさん、お聞きいただき、ありがとうございました！